

特色ある教育活動「ことば探究」 ～体系的な指導計画に基づき、独自教材を活用した言語活動～

楠隼中学校・楠隼高等学校

「ことば探究」の概要

「ことば探究」は、開校以来本校の特色ある教育活動として、中学3年間を通した体系的な指導計画に基づき、独自に作成した教材や新聞記事等を活用しながら、スピーチ、ディベート、ディスカッション等を行っております。「ことば探究」を通して、ことばを筋道立てて書き、話すことのできる言語能力の育成、具体的には、次の能力の育成を目指しています。

1 リサーチ能力（以下、Rと表記）

様々な情報を取捨選択しながら自分の考えを形成する「ことば」の力。

2 プレゼンテーション能力（以下、Pと表記）

自分の考えを根拠を示しながら筋道立てて発表する「ことば」の力。

3 コミュニケーション能力（以下、Cと表記）

他者の主張を受け止め、伝え合いながら新しい意見や情報を形成する「ことば」の力。

この取組を土台にして、高校の「肝付学」（高校版の「ことば探究」）につなげていきます。

「ことば探究」の具体

各学年でテーマや育成したい能力（R、P、C）ごとに学習内容を設定し、具体的な単元を設けて「ことば探究」を実施しています。

■ 中学1年生の例

【テーマ】

表現する場と伝える相手を広げる。

【学習内容】

能力	学習内容の例
R	参考となる情報を収集する。
P	効果的で分かりやすく話す。
C	自分の考えを明確にする。 相手の考えを正確に理解する。

【単元の例】

- ・自分の「ことば」で表現する動画を撮ろう
- ・食材生産者の方から「ことば」を引き出そう
- ・集めた「ことば」を整理して交流しよう

■ 中学2年生の例

【テーマ】

表現を広げる、場に応じた表現方法を獲得する。

【学習内容】 ※学年が上がり学習内容が深化。

能力	学習内容の例
R	様々な情報を分析・評価する。
P	電子メディアを用いて表現する。
C	相手の考えを的確に評価する。 相手の評価を吟味して自分の意見に生かす。

【単元の例】

- ・企業を説得力のある「ことば」で紹介しよう
- ・様々な「ことば」を集めて故郷を宣伝しよう
- ・立志の「ことば」を保護者の方に誓おう

■ 中学1年生「ことば探究」の実際

例えば、単元“食材生産者の方から「ことば」を引き出そう”は、11時間分を使って展開していきます。主要な流れは、次のとおりです。

- ①食材生産者から30分間のインタビューで引き出したい「ことば」をテーマに企画書を1枚作成する。（3時間目）
- ②インタビュー計画を立てて、本番における役割分担を決める。（5時間目、7時間目）
- ③模擬インタビューを行い、インタビュー計画を完成させる。（8時間目）
- ④本番のインタビューを行う。（9時間目）



- ⑤食材生産者にお礼状を書く。（10時間目）
- ⑥報告文を完成させる。（10時間目、11時間目）

■ 言語能力の確実な育成

新学習指導要領では、教育内容の主な改善事項として、子供たちの言語能力の確実な育成が求められています。今回紹介した本校の「ことば探究」の取組内容やその考え方が、県内の多くの学校に広まるよう、今後も「ことば探究」の教育活動を充実させていきたいと思ひます。